

第7次バンコク上水道整備計画(Ⅱ)【タイ】

施策所管局課 国別開発協力第一課

評価年月日 平成 22 年 9 月

1. 案件概要	
(1) 供与国名	タイ
(2) 案件名	第7次バンコク上水道整備計画(Ⅱ)
(3) 目的・事業内容 * 閣議決定日, 供与条件などを含む	<p>バンコクにおける上水需要の増加に対応し, 効率性が高い送配水網を構築するもの。</p> <p>案件の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 土木工事</li> <li>・ コンサルティングサービス</li> </ul> <p>ア 閣議決定日:平成 12 年9月 19 日 イ 供与限度額:96.01 億円 ウ 金利:1.70%/0.75% エ 償還(据置)期間:25(7)年/40(10)年 オ 調達条件:一般アンタイト/二国間タイト</p>
2. 事業の評価	
(1) 経緯・現状	<p>ア 社会的ニーズの現状</p> <p>本事業が計画された後の2003年にバンコク南東部での地下水の汲み上げ禁止の方針が出されたことから, 工場用水を含む同地域の上水需要がさらに高まっており, 本事業に関する社会的ニーズは引き続き大きい。</p> <p>イ 事業遅延に関する経緯・現状</p> <p>本件円借款事業の対象である既存送水管の改修工事において, 施工中に一時的に用いる代替管としてバンコク南東部向けの送水管を併用することとしていたが, タイ政府の地下水汲み上げ禁止の方針等に伴いバンコク南東部での水需要が増大したため, 同送水管を併用すると工事中に十分な量の水を供給することができなくなることが判明した。そこで, 先方政府は自己資金によ</p>

	<p>リバンコク南東部向け送水管敷設工事を実施し、同工事の完成を待ってから本件円借款事業を進める必要が生じた。同工事は既に完了し、本事業は現在順調に進捗している。</p>
<p>(2) 今後の対応方針</p>	<p>本件に関する社会的ニーズは引き続き大きく、事業遅延の要因は解消され、また、事業完成後は当初の見込み通りの効果が予測されることから、引き続き支援を継続していく。</p>
<p>3. 政策評価を行う過程において使用した資料等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交換公文</li> <li>・外務省の約束状況に関する資料及び案件概要 (<a href="http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/index/anken/zyoukyou.html">http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/index/anken/zyoukyou.html</a>)</li> <li>・国際協力機構の案件検索(<a href="http://www2.jica.go.jp/ja/yen_loan/index.php">http://www2.jica.go.jp/ja/yen_loan/index.php</a>)</li> <li>・国際協力機構のプレスリリース(<a href="http://www.jica.go.jp/press/index.html">http://www.jica.go.jp/press/index.html</a>)</li> <li>・国際協力機構の事業事前評価表 (<a href="http://www.jica.go.jp/activities/evaluation/before.html">http://www.jica.go.jp/activities/evaluation/before.html</a>)</li> <li>・その他国際協力機構から提出された資料</li> </ul>